

地域ポータルヒアリング調査結果

1. 地域ポータル開設まで

No.	ヒアリング項目		宮前ぼーたろう	いたみん	みたか子育てねっと	西宮流
			神奈川県川崎市宮前区	兵庫県伊丹市	東京都三鷹市	兵庫県西宮市
			(株) フューチャーリンクネットワーク		(株) まちづくり三鷹	西宮 kite-mite ネット
			ヒアリング実施日：2008. 2. 14		ヒアリング実施日：2008. 3. 5	
1	開設に至った経緯		・2000 年から地域情報サイト「まいぷれ」を展開する中で、民間情報だけでなく行政サービスについてもワンストップに提供することで、地域住民の地域情報ニーズにより応えていくことができ、かつ、更なる地域コミュニティプラットフォームとして地域の活性化に貢献できるのではないかと考え、官民協働事業（PPP）の一環として、地方自治体に対して提案。当時は門前払いの状況。 ・自治体向けフェアや自治体勉強会での紹介、飛び込み・電話・メールにてアポイントを取っての説明など、地道な営業活動を展開。		・経済産業省が2001年4月に公募した「介護・子育て分野における革新的なサービス提供に資する IT 活用事業」（事業主体はニューメディア開発協会）に対して、（株）まちづくり三鷹から三鷹市に提案を行い、「みたか子育てねっと」開設などを柱として応募。	
			・川崎市には、以前より「まいぷれ」川崎版を展開し地域情報を配信。川崎市に官民協働スキームの提案をしたところ、関心を受領。プロポーザル形式での公募を市に提案。	・伊丹市長へ直接提案する機会があり、話が進展。プロポーザル形式での公募を市に提案。	・西宮市はもともと、公式 HP は日経パソコンの e-都市ランキング 1 位を取るなど、HP からの情報発信に力を入れていた。民間企業、事業者の情報を発信し産業振興につなげるためのサイトの必要性から、産業振興課の事業として、2006 年 8 月に地域ポータルの公募あり。 ・応募の条件として、複数社によるグループを組むこと、1 社は西宮市内に事務所があること等があり、西宮市企業家支援スクールのつながり等で、3 社で応募。	
2	開設までに係わった機関・調整方法（行政、民間、他）	市の担当部門	総務局 情報管理部 システム企画課	総合政策部 ICT 推進担当	子育て支援室（未就学児童全般を担当）	産業振興課
3		係わった機関とその調整事項・調整方法	・地域の情報提供元である商工会、町内会、警察署などと、「まいぷれ」川崎版で培ったネットワークを活用し、関係を構築。	・市から地域の情報提供元へ紹介してもらい、地域の情報提供元との関係を構築。	・三鷹市と行政情報に関するコンテンツ作成について調整。市はサイト開設に前向きで、掲載を求めるコンテンツの種類と量が打ち合わせごとに増加。 ・未就学児童を持つ母親を中心とするボランティアグループ「子育てコンビニ」を立ち上げ、子育て情報の一部コンテンツの作成を依頼（現在は NPO 子育てコンビニ）。 ・「子育てコンビニ」は、三鷹市がメンバーを募集し、（株）まちづくり三鷹がパソコン操作や HP 作成方法を指導。 ・三鷹市との調整は（株）まちづくり三鷹が実施。	・市は公募の前年から準備委員会を開催。その後選考委員会となり、現在は運営委員会となって西宮kite-miteネットと打ち合わせを実施。現在の運営委員会のメンバは産学官から集まった5名。市産業振興課が事務局を務める。 ・地域ポータル開設の関係者が委員会に揃っていたため、調整は委員会とのやり取りを考えていけばよし。

No.	ヒアリング項目		宮前ぽーたろう	いたみん	みたか子育てねっと	西宮流
4	スト 開設 までの 期間・コ	期間	・委託を受けてサイト開設まで、3～4 ヶ月。		・2001年4月に公募、5月採択。10月にサイト開設し、12月まで3ヶ月間の実証実験を実施後、本サイトとして運営開始。	・開設までの期間は、5 ヶ月。2006年 11 月に受託が決定し、2007 年 4 月 20 日にサイトオープン。
5		コスト	・両サイトとも、委託料にて構築。 ・委託料は、コンテンツ作成、行政CMSとのシステム連携構築、営業活動などに使用。サーバ等システムは、「まいふれ」の既存資産を活用。サーバは自社サーバ。		・ニューメディア開発協会からの委託料は6,000万円。 ・ハードウェア購入、システム構築、コンテンツ作成、動画配信などに使用。三鷹市側の人件費は含まず。	・西宮市からの委託料の大半は、システム構築、サーバ等ハードウェア費となり、取材・編集等の人件費は、できるだけ押さえない状況であった。
6	開設時の広報活動		・行政広報誌にてカラー1ページ挟み込みで紹介。	・行政広報誌にてカラー4ページ挟み込みで紹介。	・チラシを作成し、市内の公立の全保育園・幼稚園、小学校、保健センター、子育て家庭支援センター、市役所窓口にて配布。 ・三鷹市広報にて実証実験開始を告知。	・行政広報誌の1面にカラーで紹介。産業振興課がニュースリリースを実施し、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、神戸新聞等が記事掲載。 ・産業振興課のほか、市長、市や商工会の幹部等が様々な機会にPRを実施。(特に市長は会合の挨拶などでPRを実施、重要な広告塔でもある。)

2. 地域ポータル開設後の状況

No.	ヒアリング項目	宮前ぽーたろう	いたみん	みたか子育てねっと	西宮流
1	現在までの利用状況 アクセス数、利用者数	・月間のアクセス数、訪問者数は「いたみん」とほぼ同様。	・アクセス数は、約12万PV（ページビュー）/月。訪問者数は約1.2万人/月。（2008年2月中旬時点） ・SNSなどへの投稿が可能な会員登録者は約700人（2008年2月中旬時点）。	・アクセス数は、約 15 万～16 万 PV/月。訪問者数は約 3.5 万～4 万人/月。アクセス数及び訪問者数は、サイト開設以降右肩上がり推移。（2008 年 2 月末時点） ・行政情報のページへのアクセス数と子育てコンビニのページへのアクセス数はほぼ同等で、約 8 万 PV/月。 ・地域の子育て情報についての掲示板へのアクセス数は約 2,000～3,000PV/日、投稿数は約 10 件/日。開設後の述べ投稿数は約 38,000 件。携帯からも閲覧、投稿が可能。アクセス数、訪問者数が多い要因の一つ。 ・市の子育て相談窓口の担当者が、子育て相談に電子メールで答えるネット相談システムへの相談件数は、約 10 件/月。 ・例年、幼稚園の募集が始まる 10～11 月は、アクセス数が急増。	・アクセス数は約 35～36 万 PV/月（2008 年 2 月末時点）。2007 年末に、約 1 万 PV/日を突破。 ・会員登録者は約 700 人。9 割弱が西宮市民（2008 年 2 月末時点）。 ・会員数は、開設時のほか、新聞掲載時、サイトを活用したブログ特別講座実施時、市主催のイベントでの PR 実施時などに増加。 ・会員の特典としてはブログや口コミ情報を書ける、会員限定メルマガを受信出来る等。現状では大きなメリットはなし。
2	ターゲットユーザ、利用者層	・ターゲットユーザは特に定めていない。結果的に主婦層が多く、子育て情報等の発信の必要性を感じている。	・ターゲットユーザは未就学児童を持つ母親。	・ターゲットユーザは未就学児童を持つ母親。	・開設時のターゲットユーザは 30 代～50 代女性だったが、予想に反し会員登録者の中心層は 60 代以上男性、次いで 40～50 代女性。
3	運営体制	・「宮前ぽーたろう」「いたみん」「まいぷれ」共通で、コンテンツ関係 2 人、システム関係 3 人で担当。 ・営業は 1～2 人程度。 ・ASP データセンターが東京都内に存在。	・「宮前ぽーたろう」「いたみん」「まいぷれ」共通で、コンテンツ関係 2 人、システム関係 3 人で担当。 ・営業活動は、FC である地元の C-BLOOD 実施。 ・ASP データセンターが東京都内に存在。	・サイト構築・運営担当社員は 3 名で、いずれも兼任。システム構築及び保守管理は外注。 ・市との定例会議は行っていない。内線が通じており、随時電話にて相談。	・3 社で運営を分担。 ・サーバ、システムの運営は（株）クークーが担当。 ・事務局を担当する（有）EUC サポートが中心となりコンテンツ作成。本業を通じて知り合った Web 編集者やデザイナー等に、内容に応じて有償・無償で取材・イラスト等の協力を依頼。 ・1 回/3 ヶ月、地域ポータル運営委員会への状況報告を継続。

No.	ヒアリング項目	宮前ぼーたろう	いたみん	みたか子育てねっと	西宮流
4	各種情報の収集方法、更新方法等	行政情報の収集、更新	- 行政情報は毎日早朝にバッチで受取り、自動更新。事前に XML スキーマを開示してもらい項目を決め、CSV 形式にてデータを受取る。自治体が CMS を導入していることが前提。3 日分のデータをバックアップする。自治体の契約ベンダが協力的かどうかの影響を受ける。 - 行政情報の掲載は市公式サイトと同時であるよう指導あり。	- 掲載している行政情報について、更新が必要な内容は少ない。更新は市からの連絡があるたびに随時、(株)まちづくり三鷹にて実施。 - 更新時は、現在のサイト内容に朱書きで訂正してもらったものを、FAX で受取る。新規作成時には、市が作成したコンテンツを電子データで受取る。 - 三鷹市における所管課が異なるため、提供できていない情報もあり。例えば、予防注射の実施日や病院に関する情報など。その場合は、リンクを掲載。 - 市公式サイトでは、「みたか子育てねっと」に掲載されている行政手続きについては記載せず、リンクを掲載。	- 現在は、立ち上げ部署である産業振興課や商工会の行政情報の掲載が中心。今後は他の部署との連携も視野。 - 市産業振興課、商工会が関係する情報については事前提供を受け掲載時期も協議。他の情報については、行政広報誌等の紙情報を転記。 - 掲載は行政広報誌の発行と同時又は後にという制約がある場合もあり。
5		民間情報の収集、更新等	- 一部のコンテンツは市民記者を活用して作成。市からの委託内容に、市民の力の活用があるため。市民記者には取材費を支払う。400 字詰め 3,000 円/枚が基本単価で、撮影費、経費等が加算される。初心者レベルで 7,500 円程度、プロレベルで 50,000 円程度。 - 市民記者は、「宮前ぼーたろう」では 15~16 人、「いたみん」では 10 人程度から申し込みがあった。 - 店舗情報は各サイトの営業担当が制作。	- 民間情報ページの更新頻度は、最低 1 回/月。毎月の特集記事を掲載。子育てエッセイと助産師への質問は、随時更新。 - 特集記事は、季節に応じた子育て中の母親が知りたい内容。(株)まちづくり三鷹と NPO 子育てコンビニで月 1 回編集会議を開催し、特集記事などの内容を決定。 - 記事の最終チェックとサイトへの掲載は(株)まちづくり三鷹にて実施。サイト開設から 6 年以上経過し、NPO 子育てコンビニにもノウハウが蓄積。(株)まちづくり三鷹にて記事の修正が必要になることは少ない。 - 子育て関連店舗紹介においては、市のサイトとして店舗宣伝にならないよう、記事の書き方や写真の取り方について、ルールを遵守。 - NPO 子育てコンビニの中核メンバは約 20 人。メール会員約 40 人を合わせ、計 60 人程度。	「西宮流」は西宮に関する「人」を取材し、特集記事を書くことを特徴とする。 - データベース機能である「西宮ナビ」はまだ登録数少だが、丁寧な取材による情報を増やすことが、質の高いデータベースに繋がると認識。 2007 年 9 月に、「MIYA MAMA STYLE」開設。「MIYA MAMA STYLE」とは 2~3 歳児を持つ母親によるグループが作るサイト。報酬は交通費程度だが、HP 作成方法や取材ノウハウ指南を通し、子育てをする際に重要となる地域情報を発信・交換するサイトに育つことを期待。 - 季節や行事ごとの特集記事の掲載を中心に、随時更新。
6		近隣自治体の情報の提供	対象地域に暮らす住民の生活圏内の情報を網羅するという観点から、近隣自治体の情報も掲載。	—	現在は西宮市内の情報のみ掲載。

No.	ヒアリング項目	宮前ぼーたろう	いたみん	みたか子育てねっと	西宮流
7	ビジネスモデル	各 地 域 ポータル の 収 支 の 状 況	・本業である「まいぷれ」の既存資産を利用してのもの、「宮前ぼーたろう」「いたみん」単独ではサイト維持のためにかかる工数を賄うことも困難。各地域ポータル単独での収支は初年度から黒字になるものではなく、3年程度を見込む。「まいぷれ」を含めた地域ポータル事業全体としても同様であり、先行投資が多い事業。	・運営経費は、三鷹市からの委託料で賄えている。ただし社員3名は兼任のため、人件費の面ではグレーな部分あり。 ・NP0子育てコンビニへは、(株)まちづくり三鷹より、記事作成を委託。	・「西宮流」ではそれほど稼ぐことが出来ていない。2007～8年度は補助金があるため、事務所費と最低限の運営費はどうか捻出。2009年度以降は自主運営をしないとかなり厳しい状況。 ・「西宮流」で収益を上げられるようになっておらず、各社本業で稼ぐしかないため、西宮流に注力できず。事務局を担う(有)EUCサポートも苦勞している。
8		収 入 源 と 課 題	・3年目までは、市からの委託料あり。 ・地域ポータルの収入源の大半は広告掲載費と店舗情報掲載費。店舗情報掲載は1,000円/月から10,000円/月までのメニューを用意。最低価格を1,000円/月以上にとすると、払える業態は飲食店、エステ等しかなく、「ホットペッパー」等フリーペーパーと変わらなくなる。地域の情報発信を担う上では、広告費が捻出しづらい地域の零細企業の情報も掲載していく必要があり、最低掲載単価を高くすることは困難。 ・地域ポータル運営を通して収集した口コミ情報の分析・販売、地域の零細企業から収集したニーズの分析・販売に対する関心はあり、事業として検討している。現在、店舗等のプロフィール情報は5,000～6,000程度持っており、レコメンデーションサービスのための情報として活用する機能を開発中。	・運営経費は、三鷹市からの委託料あり。 ・「みたか子育てねっと」のWebシステム「e!子育てねっと」の販売、及び同システムを用いた子育て地域ポータルサイトの構築を事業として実施。ただし収益性の高い事業とは言えず、収益性の向上は今後の課題。 ・バナー広告については、現在は未掲載。以前、行政情報を掲載する以上広告掲載は好ましくないとの三鷹市からの意見があったため。しかし現在では市公式サイトでもバナー広告を掲載しており、収益的な観点からも、今後はバナー広告の掲載を予定。	・2年間は、市からの補助金あり。 ・特集を組む際には、特集ごとに企画編集掲載料として収入を得るようにしている。 ・自主企画も実施して収入を確保。具体的には、特集バナーをトップページに貼り店舗情報ページに誘導する特集記事広告や、スタンプラリーやクーポンなどのリアルな販促と絡めるなど。 ・しかし、営業にかかる人材と時間が不足しているため、それらの収入はまだ微々たるもの。 ・その他、取材費は取っていない。 ・バナー広告出稿に関心を示している地元企業もあり。サイトのアクセス数も上がってきたため今後はバナー広告料を視野に入れている。

No.	ヒアリング項目	宮前ぼーたろう	いたみん	みたか子育てねっと	西宮流
9	これまでの課題と対策方法	・地域ポータル運営上の課題は数多い。試行錯誤を続けている状態であり、個々に何が課題だというレベルではない。 ・ビジネスモデルにもまだまだ課題がある。現状の収支の状況は、先行投資をしている状態であり、このままのビジネスモデルで良いとは考えていない。		・サイト運営において、特に大きな課題は発生していない。	・ビジネスモデルの柱を確立できていないのが一番の課題。人手が足りない。補助金では不足している状況であり、今後その対策を取ることが急務。 ・市との連携が大切と認識。今後、産業振興課にも協力してもらい、他の部署とのつながりを作っていく予定。 ・「西宮流」利用者の利便性を考えれば、市公式サイトであっても該当ページがすぐに開いた方がよい。このようなリンクでの連携も含め話し合っていく予定。 ・サイトの実態や運営上の問題などを考えると、NPO法人となった方が良いという選択肢もあったが、運営体制まで考える時間の確保が困難。
10	地域ポータル運営にあたって	・地域ポータルのみでのビジネスモデルは莫大に儲かる事業というわけではない。地域ポータルを通じて集めた地域情報の活用に注力していく。 ・「宮前ぼーたろう」「いたみん」運営は収益獲得が主目的ではない。行政との協業を通して官民協働事業の先行事例となり他の自治体も参加する土壌をつくることや、行政情報を取り入れることによってノウハウを溜め地域情報充実の次の展開を考えることが主目的。 ・地域ポータルの取り組みは地域におけるコミュニケーションツールの整備という第一段階にすぎないとする。今後は地域ポータルを活用して地域活性化に資するような種々の事業を立ち上げていくことでビジネスとしての成長を実現していくことを検討。例えば、商店などから基金を募りコミュニティファンドを立ち上げ、地域へ貢献する活動を行っている人や団体を助成するようなマイクロファイナンス的なアプローチを通して、地域に価値を還元するための準備を実施中。	・「みたか子育てねっと」の基本方針は、三鷹在住の子育て中の母親に役立つ情報の提供。一般的な子育て情報は提供していない。身の回りのこと、地域のことを知りたいというニーズがあると感じている。	・「西宮流」は西宮に関する「人」を取材し、特集記事を書くことを特徴とする。 ・Webサイトは、紙媒体のような枚数制限なしに情報掲載可能、内容変更に応じた更新が容易といったメリットあり。最新の行政情報を掘り下げ、生活者の目で見た編集で掲載することに、住民ニーズがあるとする。 ・「西宮流」運営は、これまで知らなかった市のことや市内の活躍する人と関わり、それを皆に伝えることの楽しさ、面白さで、続けていられている。読者からの感想で自分たちのモチベーションを上げている。 ・現在はコンテンツ増による地域ポータルとしての魅力向上に注力。ビジネスモデルを考える必要性は十二分に認識。収益を上げるためにすべきことがおぼろげに見えてきた段階。 ・「西宮流」トップページには市長メッセージを掲載。それによってサイトの信頼性が高まるが、行政によるサイトと捉えられることも多く、説明に苦労することもある。	

3. 今後の計画

No.	ヒアリング項目	宮前ぽーたろう	いたみん	みたか子育てねっと	西宮流
1	サービスの拡充計画	・次世代版「まいぶれ」の開発に伴い、サイトリニューアルを予定。 ・地域ポータル上での物販の予定はなし。ただし、行政やユーザからの要望があれば検討する。 ・川崎市の電子申請システムとは現在リンクのみだが、機会があれば積極的に取り組みたい。 ・災害情報などサイトに取り入れられるあらゆる情報は積極的に連動をしていきたい。	・地域ポータル上での物販の予定はなし。ただし、行政やユーザからの要望があれば検討する。 ・電子申請や災害情報などサイトに取り入れられるあらゆる情報は積極的に連動をしていきたい。	・新サービスや新機能の提供予定はなし。 ・システム面では、ユーザインタフェースの改善を予定。ネット相談システム、ファミリーサポートシステムのリニューアルも実施予定。 ・サイトの対象者の範囲を未就学児童のみから学童保育まで拡大していく予定。 ・携帯サイトの充実を予定。現在は掲示板のみが閲覧可能。携帯サイトで提供可能なコンテンツについて検討が必要。 ・電子申請への対応は、市の課題と認識。「みたか子育てねっと」では、申請書のダウンロードのみ可能。市では、電子申請ポータルの実現などを目指した事業を実施しており、電子申請開始時にはそちらへ誘導予定。	・4月にトップページ、コミュニティページを中心にリニューアルを予定。以下の変更を行う。 -バナー広告やフラッシュ広告掲載を念頭に置いたサイト構成に変更。 -携帯サイトを充実させたい。 -外部のブログ、投稿サイトなどで情報を発信。 -音声配信（ポッドキャスト）の「ぽでえびす」の本格運営。 -「MIYA MAMA STYLE」の更新をメンバ全員にて実施できるようシステム変更。 ・特集記事は、「西宮ナビ」より詳しい店舗紹介が可能、検索が必要な「西宮ナビ」と違いトップバナーから誘導可能、という点で広告媒体としての価値を持たせ、営業につなげていく予定。 ・携帯の活用を視野に入れ、QRコードつきクーポンの営業を今後商店街などともタイアップしてビジネスとして展開予定。 ・物販ページのシステム改善を行って、手間をかけず店舗登録数と販売量を増やしたいが、まだ少し時間がかかる予定。

No.	ヒアリング項目	宮前ぼーたろう	いたみん	みたか子育てねっと	西宮流
2	他公共機関（国等）との連携	・警察と連携して防犯情報を掲載。 ・宮前観光協会と連携して観光情報を掲載。	・公民館等の、市の関連機関のイベント情報などを掲載。個別にAPIを組み込み、情報連携を実施。	・予定はなし。国の新しい施策等が成立しても自治体により対応方法は異なるため、従来通り、三鷹市経由で子育てに関する行政情報を掲載予定。	・現状では展開の仕方やメリットがわからないため予定なし。必要に応じて、近隣自治体の情報にリンクを貼る程度の予定。
3	他ポータルとの連携	・近郊エリアの自社運営サイト「まいぷれ川崎版」と連携。	・近郊エリアの自社運営サイト「まいぷれ尼崎版」と連携。	・他サイトからのリンク依頼が2～3件/月あり。公共的サイトや、子育て地域ポータルからの依頼についてはあまりに遠方な場合を除いては基本的にリンク実施。営利企業とのリンクは行わない。	・将来的には、他の地域ポータルとの連携による知名度向上を志向。ただし、現在は市内の情報発信を充実させサイトの魅力を向上させる段階であり、少し先の話と認識。

4. その他

No.	ヒアリング項目	宮前ぼーたろう	いたみん	みたか子育てねっと	西宮流
1	地域情報プラットフォームへの意見	・地域情報プラットフォームのような標準仕様が実現すれば、企業としては標準を活用すればよいので便利。 ・行政から受領する情報と企業の持つコンテンツとの紐付けを自動的に行えるような標準化を希望。イベント種類を分類するためのタグをつける、地図上で表示を行うための緯度・経度情報をつけるなど。現状はサイト開設時期にマッチングテーブルを作って手作業で分類しており、手間がかかる。	・地域情報プラットフォームのような標準仕様が実現すれば、マイポータル上での各種情報提供や連携が容易となるので便利。 ・過去に、「みたか子育てねっと」を登録制にしてマイポータル化することを検討したが、利用者のアクセス時の手間、並びに個人情報管理にかかるシステム管理者の負担を考慮して見送り。マイポータル化できれば、従来の申請主義での行政から脱し、当該児童が対象となる手当や検診の通知や行政情報をプッシュ型で提供可能。また、都の電子申請システムなどとの連携が可能となり、利便性が向上。その場合、三鷹市の現状体制は見直しが必要。	・現在は自治体の情報を民間企業へ渡すことに対して自治体のほうにまだまだ躊躇があり。地域情報プラットフォームのような標準仕様が実現すれば、情報を流す仕組みさえ揃えれば地域ポータル上で行政情報や民間情報を簡単に提供できるようになるので大変便利。 ・ただし、単に行政情報を流すだけでは全国で画一的な地域ポータルが広がることとなり、その内容の深さなど生活者の視点での編集の仕方も求められてくると考える。	
2	市への要望等	・地域ポータルのコンテンツの充実度や、住民への広報PRは、行政担当者の熱意と力量の度合に大きく影響を受ける。地域ポータル運営においては、行政の積極的な支援を期待。 ・地域ポータルを円滑に運営するためには、地元の有力者の協力も必要。行政には、そのような情報提供面での支援も期待。			